





政策研究大学院大学名誉教授・  
広島大学特別顧問

**黒川 清**

日本の大学は危機的な状況にあります。それを脱するには大学の国際化・英語化を避けて通れません。教員・学生がともに、海外の大学と双方向で交流していくことが極めて大切です。広島大が進めているアリゾナ州立大海外キャンパス誘致や、ハーバード大からの研究インターン医学生受け入れは、まさに時宜にかなった先駆的取り組みといえます。

臨床医として培ったセンスで、世界の中の日本を考える越智学長の先見性と行動力に敬服します。地域に多くの卒業生を輩出してきた広島大学医学部は地域医療の要であり、世界にその名を知られるヒロシマの医学部・病院の未来に、大いに期待しています。